

青森県経済統計報告

平成 27 年 6 月 8 日

企画政策部統計分析課

1 青森県の推計人口（平成 27 年 5 月 1 日現在）…………… 1

県人口	1,310,743 人（対前月 66 人減少）
自然動態	593 人減少（出生者数 735 人、死亡者数 1,328 人）
社会動態	527 人増加（転入者数 3,458 人、転出者数 2,931 人）

2 本県の経済動向（平成 27 年 3 月・4 月の経済指標を中心として）

（1）経済概況

本県経済は、弱めの動きもみられるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている。

（2）主要経済指標の動向

- (2-1) 生産動向 …… 2
 - ・平成 27 年 3 月の**青森県鉱工業生産指数**（平成 22 年=100）は、季節調整済指数が 111.7 で、前月比 4.9%の上昇となり、3 カ月ぶりに前月を上回った。また、原指数は 112.3 で、前年同月比 3.4%の上昇となり、3 カ月ぶりに前年同月を上回った。
 - ・平成 27 年 3 月の**大口電力使用量**は 2 億 2,870 万 kWh で、前年同月比 1.5%減となり、13 カ月連続で前年同月を下回った。

- (2-2) 雇用労働 …… 3
 - ・平成 27 年 3 月の**定期給与**は 216,955 円で前年同月比 3.0%減となった。**総実労働時間**は 154.7 時間で前年同月比 0.2%増、**所定外労働時間**は 10.9 時間で前年同月比 2.5%増となった。
 - ・平成 27 年 4 月の**有効求人倍率**（季節調整値）は 0.87 倍で、前月を 0.06 ポイント上回った。また、**新規求人倍率**（季節調整値）は 1.31 倍で、前月を 0.15 ポイント上回った。
 - ・**雇用保険受給者実人数**は 6,870 人で、前年前月比 8.5%の低下となった。

- (2-3) 物 価 …… 5
 - 平成 27 年 4 月の**青森市消費者物価指数**（平成 22 年=100）は、総合指数が 103.2 となり、前月比 0.1%の上昇、前年同月比 0.1%の下落となった。

- (2-4) 個人消費 …… 6
 - ・平成 27 年 4 月の**大型小売店販売額**は、全店舗ベースが 138 億円で前年同月比 5.1%増となり、5 カ月ぶりに前年同月を上回った。また、既存店ベースでも前年同月比 5.1%増となり、5 カ月ぶりに前年同月を上回った。
 - ・平成 27 年 4 月の軽自動車を含めた**乗用車新車登録・届出台数**は 3,578 台で、前年同月比 14.0%減となり、4 カ月連続で前年同月を下回った。
 - ・平成 27 年 4 月の**観光入込客数**は、主な観光施設が 832 千人で前年同月比 3.6%増となり、2 カ月ぶりに前年同月を上回った。また、主な宿泊施設は 109 千人で前年同月比 1.0%増となり、3 カ月連続で前年同月を上回った。

- (2-5) 建 設 …… 7
 - ・平成 27 年 4 月の**新設住宅着工戸数**は 582 戸で、前年同月比 10.9%増となり、4 カ月連続で前年同月を上回った。
 - ・平成 27 年 4 月の**公共工事請負額**は 195 億 5,600 万円で前年同月比 2.5%減となった。また、年度累計請負金額は、14 カ月連続で前年同月を下回った。

- (2-6) 企業倒産 …… 8
 - 平成 27 年 4 月の**企業倒産**は、件数は 4 件で前年同月比 63.6%減となった。負債総額は 1 億 800 万円で前年同月比 92.9%減となった。

（3）景気動向指数 C I（平成 27 年 3 月分）…………… 9

先行指数	98.5（前月を 6.0 ポイント下回り、2 カ月ぶりに下降した）
一致指数	113.8（前月を 2.5 ポイント下回り、3 カ月連続で下降した）
遅行指数	117.4（前月を 4.8 ポイント下回り、2 カ月連続で下降した）

1 青森県の推計人口（平成27年5月1日現在）

【概況】

平成27年5月1日現在の本県推計人口は、1,310,743人で、前月に比べ66人の減少となった。

○自然動態

出生者数が735人、死亡者数が1,328人で、593人の減少となった。

○社会動態

転入者数が3,458人、転出者数が2,931人で、527人の増加となった。

総人口の推移

（単位：人）

	総数	男	女	対前月増減率	増減数	自然増減数	出生者数	死亡者数	社会増減数	県外からの転入者数	県外への転出者数
50.10.1	1,468,646	707,232	761,414	-	41,126	-	-	-	-	-	-
55.10.1	1,523,907	735,444	788,463	-	55,261	-	-	-	-	-	-
60.10.1	1,524,448	731,439	793,009	-	541	-	-	-	-	-	-
平2.10.1	1,482,873	704,758	778,115	-	-41,575	-	-	-	-	-	-
7.10.1	1,481,663	704,189	777,474	-	-1,210	-	-	-	-	-	-
12.10.1	1,475,728	702,573	773,155	-	-5,935	-	-	-	-	-	-
17.10.1	1,436,657	679,077	757,580	-	-39,071	-	-	-	-	-	-
22.10.1	1,373,339	646,141	727,198	-	-63,318	-	-	-	-	-	-
26.5.1	1,325,297	622,167	703,130	-0.035%	-470	-714	711	1,425	244	3,608	3,364
26.6.1	1,324,485	621,682	702,803	-0.061%	-812	-552	775	1,327	-260	1,252	1,512
26.7.1	1,323,719	621,258	702,461	-0.058%	-766	-572	711	1,283	-194	1,247	1,441
26.8.1	1,323,182	621,004	702,178	-0.041%	-537	-456	840	1,296	-81	1,584	1,665
26.9.1	1,322,461	620,733	701,728	-0.054%	-721	-532	749	1,281	-189	1,669	1,858
26.10.1	1,321,895	620,565	701,330	-0.043%	-566	-603	831	1,434	37	1,528	1,491
26.11.1	1,321,130	620,185	700,945	-0.058%	-765	-721	784	1,505	-44	1,427	1,471
26.12.1	1,320,329	619,808	700,521	-0.061%	-801	-729	657	1,386	-72	931	1,003
27.1.1	1,319,297	619,304	699,993	-0.078%	-1,032	-845	680	1,525	-187	965	1,152
27.2.1	1,318,059	618,669	699,390	-0.094%	-1,238	-1,072	705	1,777	-166	1,064	1,230
27.3.1	1,316,886	618,120	698,766	-0.089%	-1,173	-754	642	1,396	-419	965	1,384
27.4.1	1,310,809	614,893	695,916	-0.461%	-6,077	-724	737	1,461	-5,353	3,806	9,159
27.5.1	1,310,743	615,057	695,686	-0.005%	-66	-593	735	1,328	527	3,458	2,931

4月中の人口動態の推移

（単位：人）

年月		平17.4	18.4	19.4	20.4	21.4	22.4	23.4	24.4	25.4	26.4	27.4
自然動態	出生者数	818	818	794	818	829	835	738	716	768	711	735
	死亡者数	1,294	1,174	1,268	1,349	1,266	1,337	1,338	1,377	1,458	1,425	1,328
	自然増減数	-476	-356	-474	-531	-437	-502	-600	-661	-690	-714	-593
社会動態	県外からの転入	4,425	4,422	4,208	4,218	4,232	4,025	3,911	3,907	4,085	3,608	3,458
	県外への転出者数	3,423	4,835	4,454	4,354	4,297	3,830	4,230	3,705	3,323	3,364	2,931
	社会増減数	1,002	-413	-246	-136	-65	195	-319	202	762	244	527
増減数計		526	-769	-720	-667	-502	-307	-919	-459	72	-470	-66

※1 昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17、22年は国勢調査人口（確定値）。

※2 平成22年11月以降の人口は平成22年国勢調査人口（確定値）を基礎に推計している。

※3 増減数は、昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17、22年が前回国勢調査、その他が前月推計人口に対するものである。

※4 算出方法

県の推計人口＝前月の人口＋自然増減数（出生者数－死亡者数）＋社会増減数（県外からの転入者数－県外への転出者数）

2 本県の経済動向

(2) 主要経済指標の動向

(2-1) 生産動向

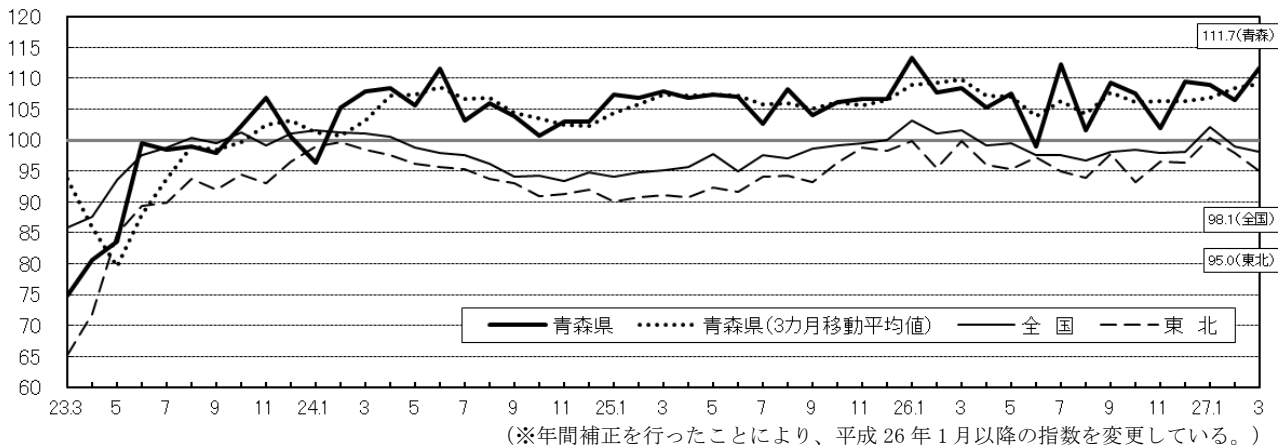
(2-1-1) 製造業の生産

平成27年3月の青森県鉱工業生産指数(平成22年=100)は、季節調整済指数が111.7で、前月比4.9%の上昇となり、3カ月ぶりに前月を上回った。また、原指数は112.3で、前年同月比3.4%の上昇となり、3カ月ぶりに前年同月を上回った。

季節調整済指数で前月からの動きをみると、化学工業、生産用機械工業、鉄鋼業などが上昇に寄与した一方、電子部品・デバイス工業、電気機械工業、業務用機械工業などが低下し、鉱工業全体では4.9%の上昇となった。

青森県・全国・東北の鉱工業生産指数推移(季節調整済指数)

(平成22年=100)

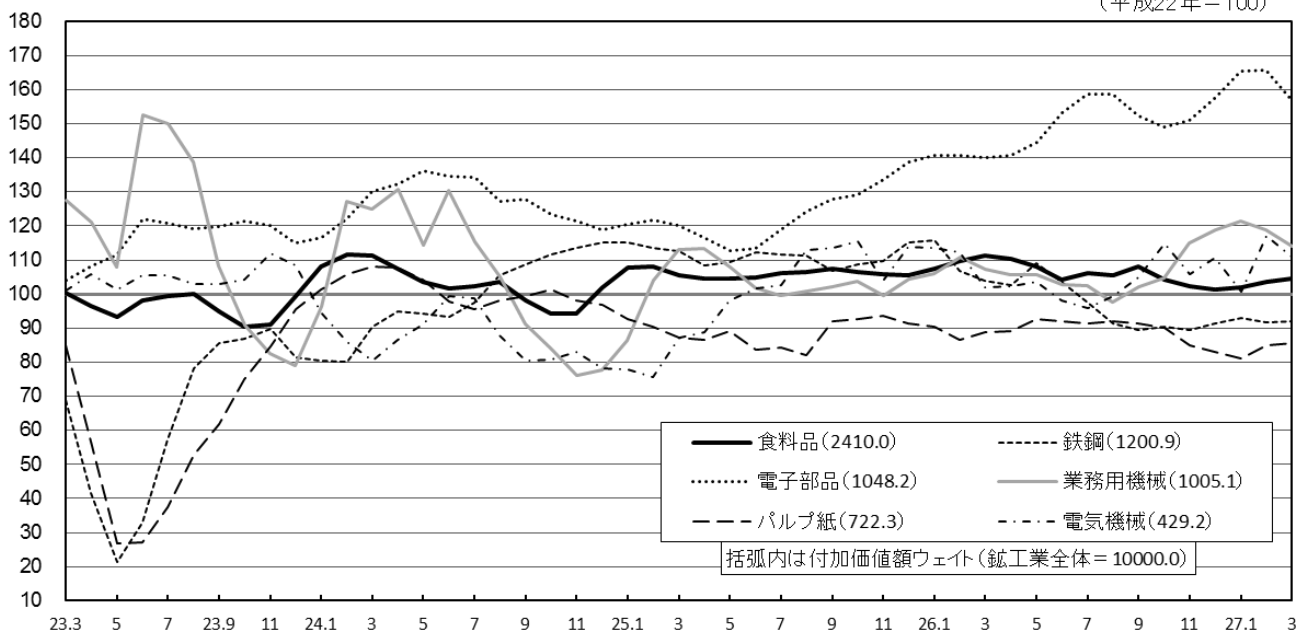


◎業種別動向(前月比) 鉱工業全体 4.9%

プラス			マイナス		
業種	前月比(%)	寄与率(%)	業種	前月比(%)	寄与率(%)
化学工業	233.8	100.4	電子部品・デバイス工業	-8.7	-18.4
生産用機械工業	187.3	19.9	電気機械工業	-23.6	-17.0
鉄鋼業	13.8	17.7	業務用機械工業	-7.3	-10.8
食料品工業	3.8	12.0	金属製品工業	-7.5	-4.4
情報通信機械工業	20.4	1.8	パルプ・紙・紙加工品工業	-4.2	-3.5

主要業種の生産動向(季節調整済指数・3カ月移動平均値)

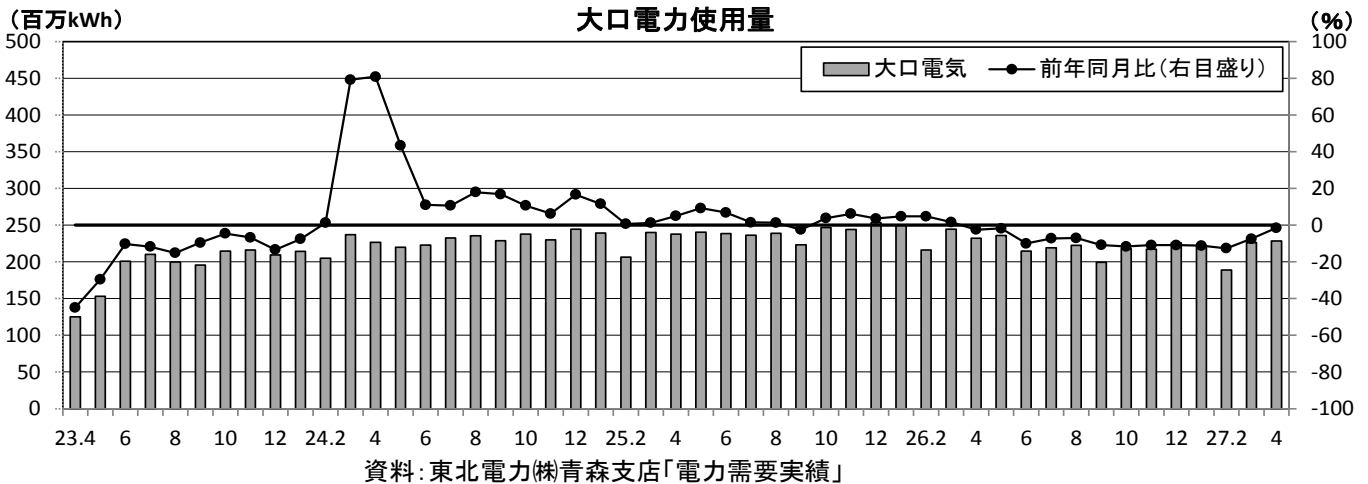
(平成22年=100)



資料：県統計分析課「青森県鉱工業生産指数(速報)」

(2-1-2) 電力使用量

平成27年4月の大口電力使用量は2億2,870万kWhで、前年同月比1.5%減となり、13カ月連続で前年同月を下回った。鉱業、製造業で減少したことによる。

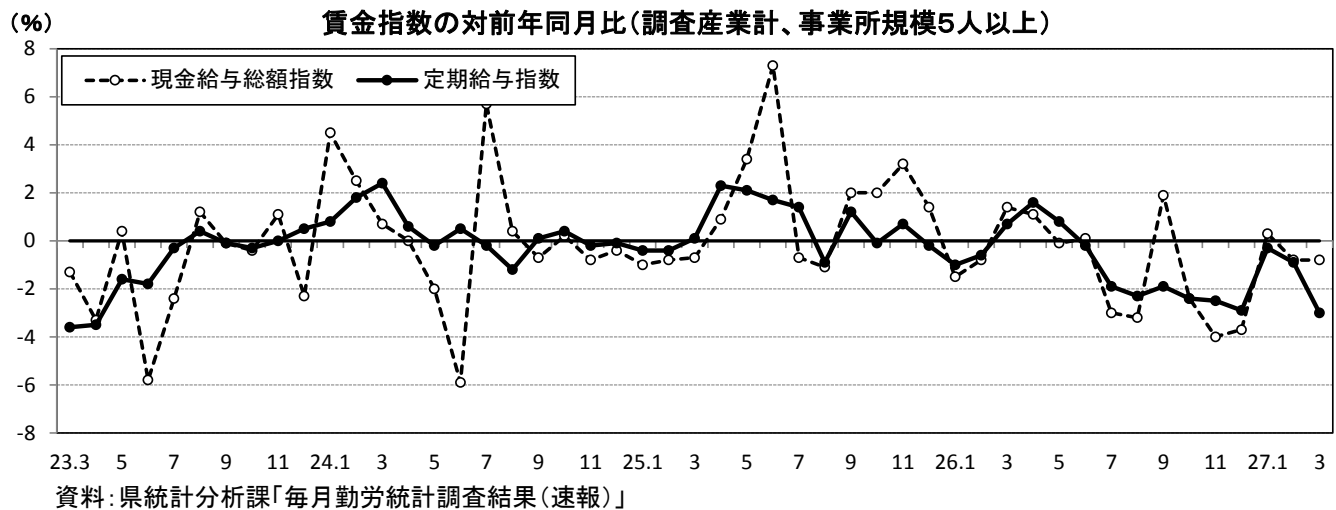


(2-2) 雇用労働

(2-2-1) 給与・労働時間 (毎月勤労統計調査結果)

平成27年3月の定期給与は216,955円で定期給与指数(平成22年=100)では98.6となり、前年同月比3.0%減と10カ月連続の減(現金給与総額227,174円、現金給与総額指数88.1、前年同月比0.8%減と2カ月連続の減)となった。実額で比較した定期給与の全国対比は83.7となった。

総実労働時間は154.7時間で、総実労働時間指数は100.1となり、前年同月比0.2%増と6カ月ぶりの増となった。このうち、所定外労働時間は10.9時間で、所定外労働時間指数は119.8となり、前年同月比2.5%増と4カ月連続の増となった。



賃金及び労働時間の動き(調査産業計、事業所規模5人以上)

	実数		指数(H22=100)		対前年同月増減率	
	県	全国	県	全国	県	全国
現金給与総額	227,174 円	274,536 円	88.1	86.7	-0.8 %	0.0 %
定期給与	216,955 円	259,251 円	98.6	98.6	-3.0 %	0.0 %
特別給与	10,219 円	15,285 円	—	—	—	0.5 %
総実労働時間	154.7 時間	146.0 時間	100.1	99.6	0.2 %	1.5 %
所定内労働時間	143.8 時間	134.6 時間	98.8	98.7	0.0 %	1.9 %
所定外労働時間	10.9 時間	11.4 時間	119.8	111.8	2.5 %	-2.4 %

(注)1.定期給与とは「きまって支給する給与」のことである。

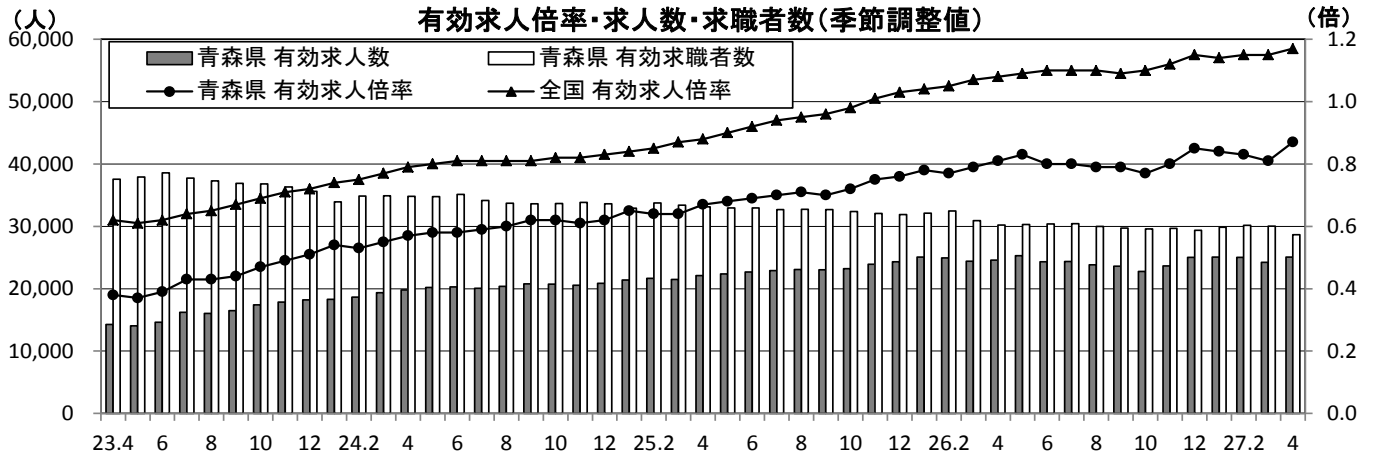
2.前年同月比は指数によって算出している。

3.平成22年1月分から、平成19年11月改訂の日本標準産業分類に基づいて結果の公表をしている。

資料:県統計分析課「毎月勤労統計調査結果(速報)」

(2-2-2) 有効求人倍率

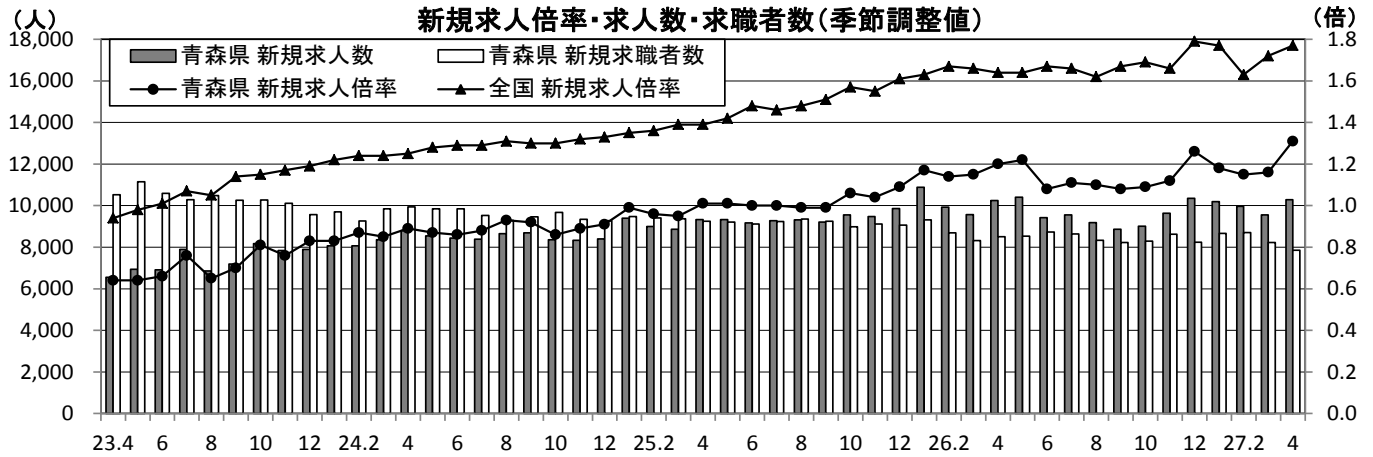
平成27年4月の有効求人倍率（季節調整値）は0.87倍で、前月を0.06ポイント上回り、平成3年2月に並び過去最高となった。



資料：青森労働局職業安定部職業安定課「職業安定業務取扱月報」

(2-2-3) 新規求人倍率

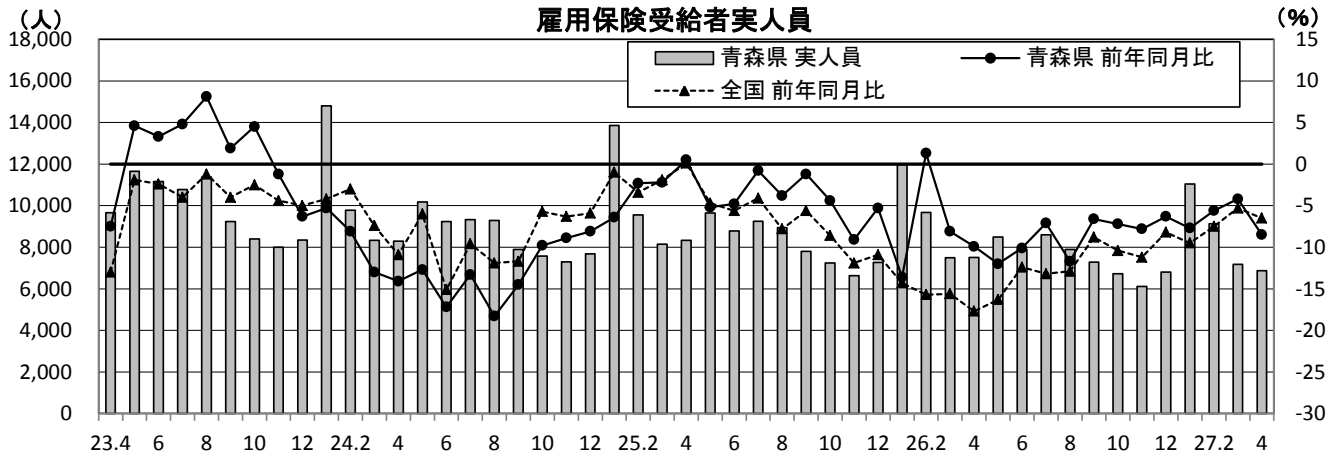
平成27年4月の新規求人倍率（季節調整値）は1.31倍で、前月を0.15ポイント上回り、過去最高となった。



資料：青森労働局職業安定部職業安定課「職業安定業務取扱月報」

(2-2-4) 雇用保険受給者数

平成27年4月の雇用保険受給者実人数は9,131人で、前年同月比5.6%減となり、14カ月連続で前年同月を下回った。



資料：青森労働局職業安定部職業安定課「職業安定業務取扱月報」、厚生労働省「雇用保険事業月報」

(2-3) 物価

平成27年4月の青森市消費者物価指数(平成22年=100)は、総合指数が103.2となり、前月と比べ0.1%の上昇、前年同月と比べ0.1%の下落となった。

生鮮食品を除く総合指数は102.4となり、前月と比べ0.1%の上昇、前年同月と比べ0.6%の下落となった。

食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は100.6となり、前月と比べ0.5%の上昇、前年同月と比べ0.7%の上昇となった。

総合指数が前月と比べ0.1%の上昇となった内訳を寄与度でみると、住居(設備修繕・維持など)、食料(生鮮野菜など)などの上昇が要因となっている。

総合指数が前年同月と比べ0.1%の下落となった内訳を寄与度でみると、光熱・水道(他の光熱など)、交通・通信(自動車等関係費など)などの下落が要因となっている。

図1 総合指数の動き

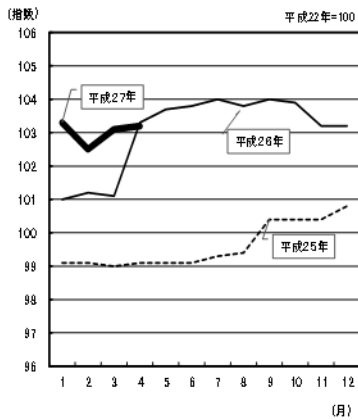


図2 生鮮食品を除く総合指数の動き

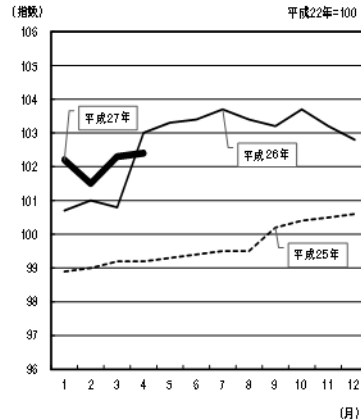
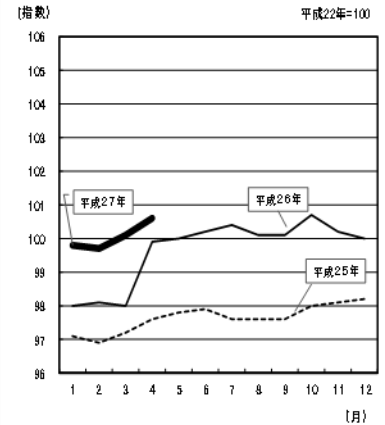


図3 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数の動き



10大費目指数の動き

(平成22年=100)

	総合	生鮮食品を除く総合	持家の 帰属家賃を除く総合	食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	食料	生鮮食品	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服	被及履物	保健医療	交通・通信	教育	教養	諸雑費
当月指数	103.2	102.4	104.1	100.6	105.2	120.1	99.9	114.1	91.2	103.9	101.0	103.0	100.9	95.7	109.5	
前月比(%)	0.1	0.1	0.1	0.5	0.2	▲0.3	0.5	▲1.9	0.1	0.7	1.1	▲0.2	0.9	0.4	0.8	
寄与度	—	0.12	0.11	0.31	0.06	▲0.02	0.09	▲0.21	0.00	0.03	0.05	▲0.03	0.02	0.04	0.05	
前年同月比(%)	▲0.1	▲0.6	▲0.3	0.7	2.3	8.9	1.3	▲5.1	▲0.5	▲2.1	2.0	▲3.2	1.2	▲0.4	0.5	
寄与度	—	▲0.55	▲0.23	0.46	0.60	0.41	0.26	▲0.58	▲0.02	▲0.08	0.08	▲0.43	0.03	▲0.04	0.03	

資料：県統計分析課「消費者物価指数 月報」

※ **寄与度**とは、ある費目の指数の変動が、総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示したものであり、全費目の寄与度を合計すると、原則として、総合指数の前月比及び前年同月比(%)の値に一致する。

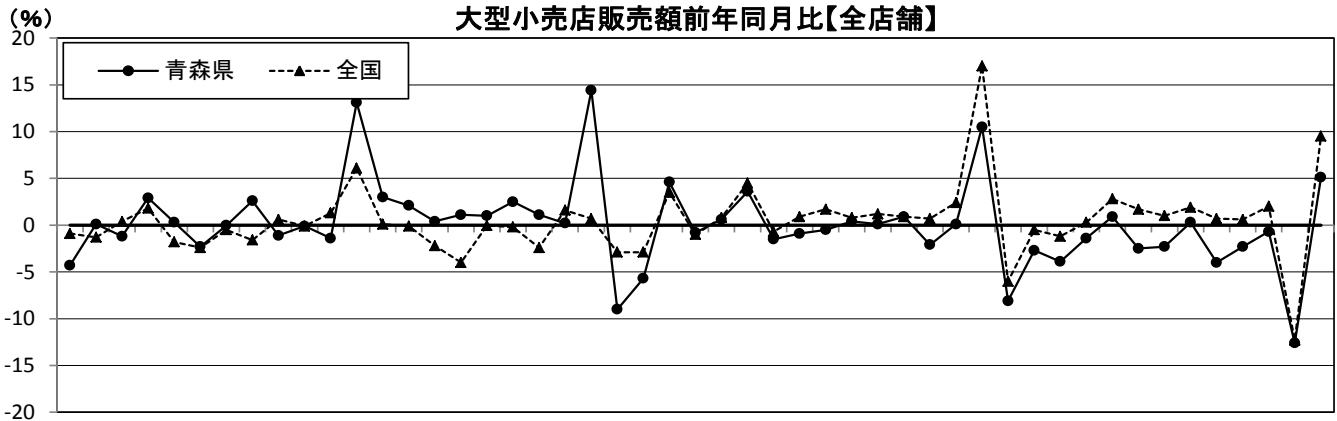
前月比、前年同月比及び寄与度は、端数処理前の指数値を用いて計算しているため、公表された指数値を用いて計算した値とは一致しない場合がある。

本資料は総務省統計局「小売物価統計調査」の調査票情報を独自集計したものである。

(2-4) 個人消費

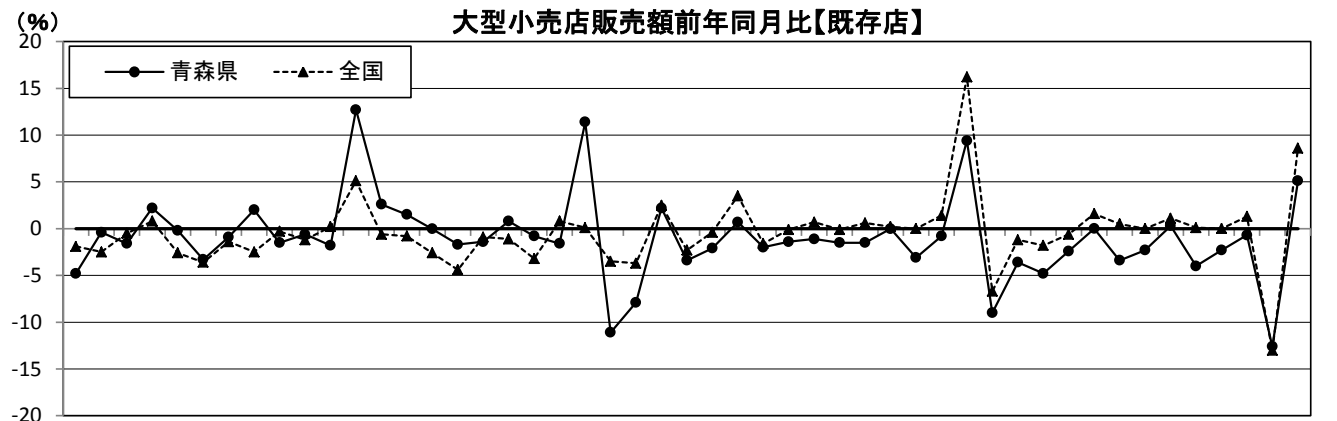
(2-4-1) 大型小売店販売額

平成27年4月の大型小売店販売額は、全店舗ベースが138億円で前年同月比5.1%増となり、5カ月ぶりに前年同月を上回った。また、既存店ベースでも前年同月比5.1%増となり、5カ月ぶりに前年同月を上回った。百貨店、スーパーともに、前年の消費税増税前の駆け込み需要の反動減の影響を受けて増加したことによる。



23.4 6 8 10 12 24.2 4 6 8 10 12 25.2 4 6 8 10 12 26.2 4 6 8 10 12 27.2 4

資料: 東北経済産業局「東北地域大型小売店販売額動向」、経済産業省「商業販売統計速報」



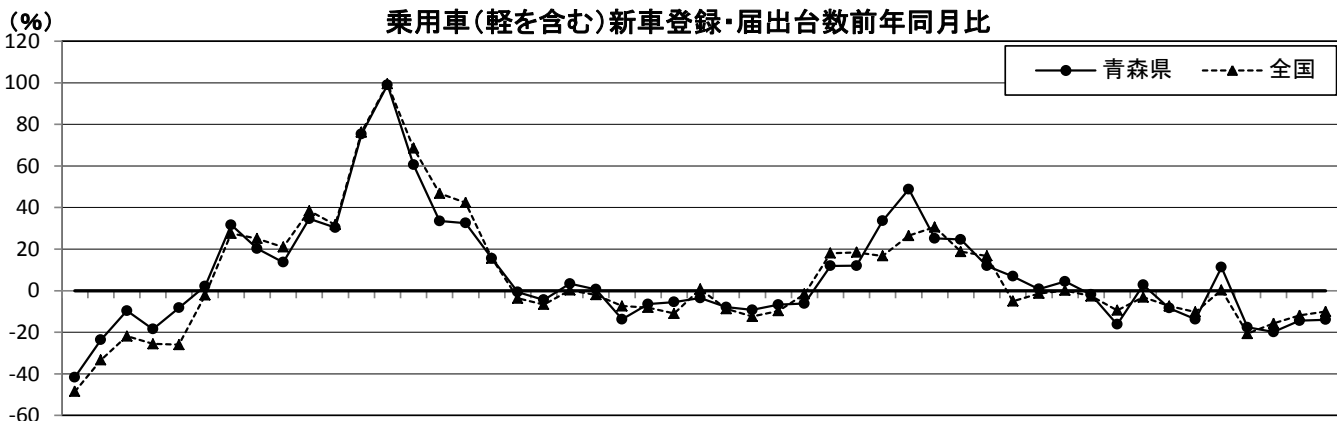
23.4 6 8 10 12 24.2 4 6 8 10 12 25.2 4 6 8 10 12 26.2 4 6 8 10 12 27.2 4

資料: 東北経済産業局「東北地域大型小売店販売額動向」、経済産業省「商業販売統計速報」

* 大型小売店は従業員が50人以上で売場面積が1,500平方メートル以上の商店をいう。
そのうち、既存店とは、当月及び前年同月とも調査の対象となっている商店をいう。

(2-4-2) 乗用車新車登録・届出台数

平成27年4月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は3,578台で、前年同月比14.0%減となり、4カ月連続で前年同月を下回った。普通車、小型車、軽乗用車で減少したことによる。

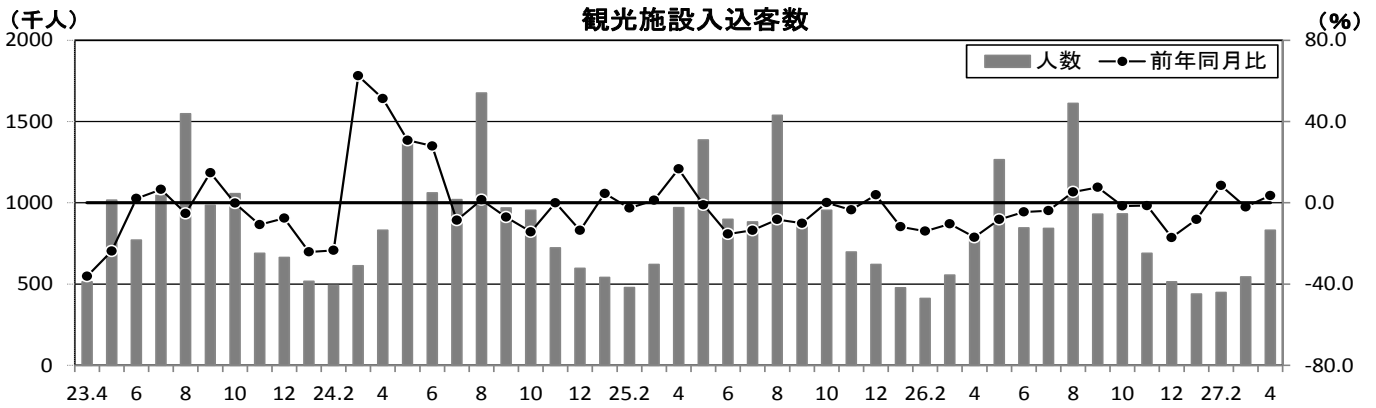


23.4 6 8 10 12 24.2 4 6 8 10 12 25.2 4 6 8 10 12 26.2 4 6 8 10 12 27.2 4

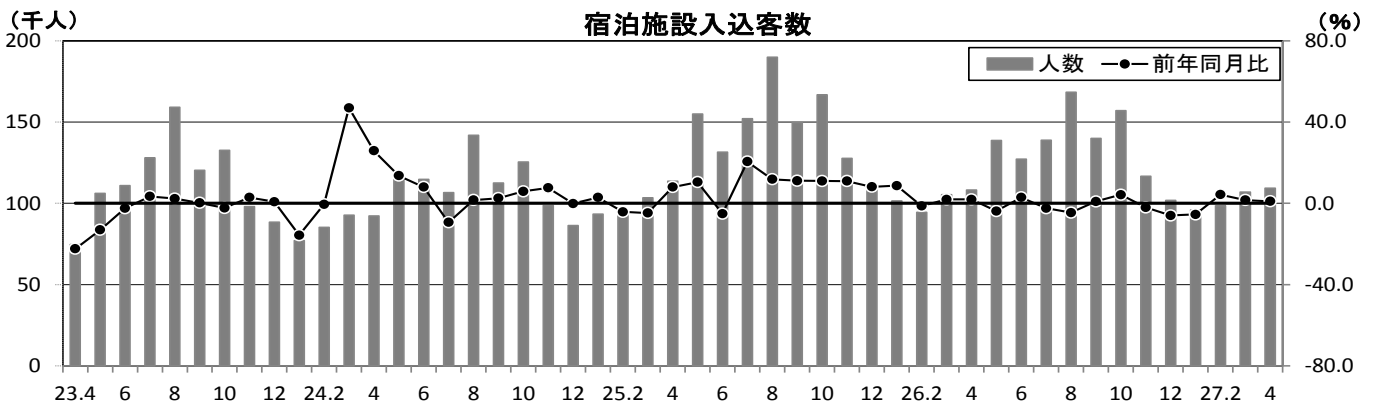
資料: 青森県自動車会議所「車種別登録・届出台数」、日本自動車販売協会連合会「自動車統計データ」

(2-4-3) 観光入込客数

平成27年4月の観光入込客数は、主な観光施設が832千人で前年同月比3.6%増となり、2カ月ぶりに前年同月を上回った。また、主な宿泊施設は109千人で1.0%増となり、3カ月連続で前年同月を上回った。観光施設は十和田市、青森市などの施設で増加し、宿泊施設は弘前市、むつ市などの施設で増加したことによる。



資料：県観光企画課「月例観光統計」※観光施設34施設(H23年は34施設、H24年1月～H26年3月は35施設、H26年4月以降は34施設対比)

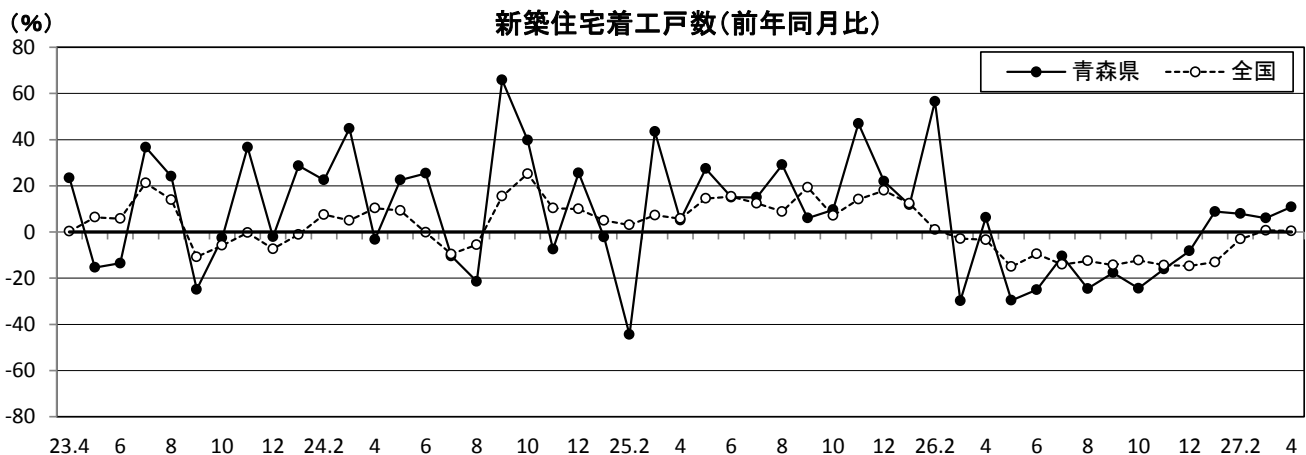


資料：県観光企画課「月例観光統計」※宿泊施設55施設(H23年は52施設、H24年1～3月は57施設、H24年4～9月は60施設、H24年10月～11月は61施設、H24年12月～H26年3月は57施設、H26年4～12月は56施設、H27年1月以降は55施設対比)

(2-5) 建設

(2-5-1) 住宅建設

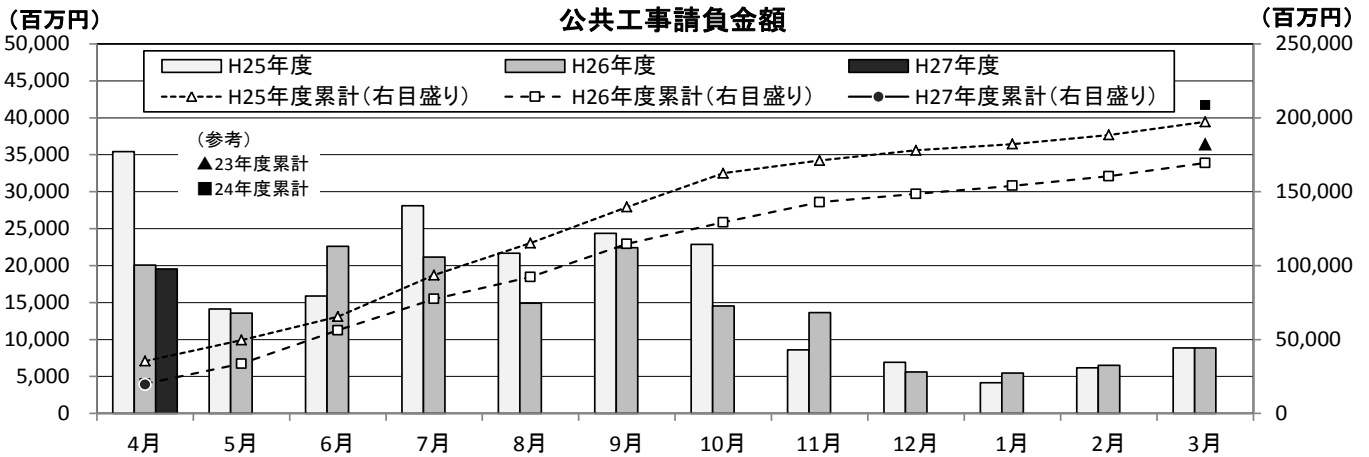
平成27年4月の新設住宅着工戸数は582戸で前年同月比10.9%増となり、4カ月連続で前年同月を上回った。持家が2ヶ月連続で、貸家が2ヶ月ぶりに増加したことによる。



資料：県建築住宅課「建築着工統計」、国土交通省「建設統計月報」

(2-5-2) 公共事業

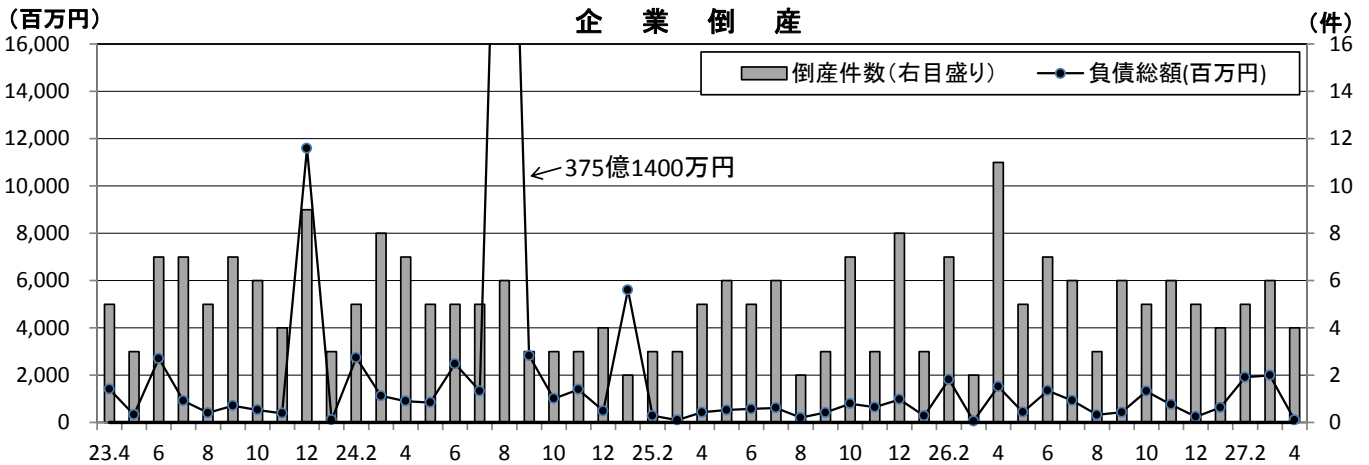
平成27年4月の公共工事請負金額は195億5,600万円で前年同月比2.5%減となった。独立行政法人等、県等で減少したことによる。



資料: 東日本建設業保証(株)青森支店「青森県内の公共工事の動向」

(2-6) 企業倒産

平成27年4月の企業倒産は、件数は4件で前年同月比63.6%減となった。負債総額は1億800万円で前年同月比92.9%減となった。負債総額5,000万円未満の小規模倒産の発生による。



資料: (株)東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」

(3) 青森県景気動向指数

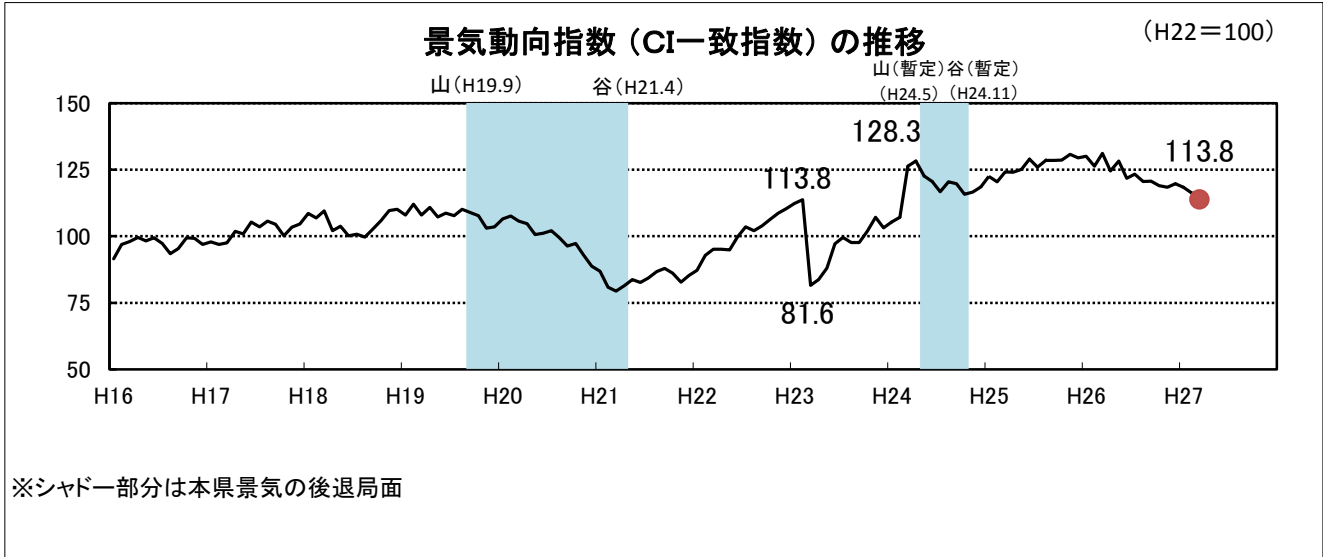
平成27年3月の青森県景気動向指数（C I）は、先行指数 98.5、一致指数 113.8、遅行指数 117.4 となった。

先行指数は、前月を 6.0 ポイント下回り、2 カ月ぶりに下降した。

一致指数は、前月を 2.5 ポイント下回り、3 カ月連続で下降した。

遅行指数は、前月を 4.8 ポイント下回り、2 カ月連続で下降した。

3月の一致指数は、消費関連等の指標がマイナスになったことから下降した。



●個別系列の動き（各指標は季節調整等を行い、寄与度を前月と比較しています）

寄与度がプラスの指標			寄与度がマイナスの指標		
先行系列					
中小企業景況D I	1.42	3カ月ぶり	所定外労働時間指数（全産業）	-4.46	4カ月ぶり
乗用車新車登録届出台数	1.33	3カ月ぶり	企業倒産件数	-3.20	2カ月ぶり
生産財生産指数	0.06	2カ月連続	新設住宅着工床面積	-0.59	5カ月ぶり
			建築着工床面積	-0.59	3カ月ぶり
			新規求人倍率（全数）	-0.02	3カ月連続
一致系列					
大口電力使用量	1.69	4カ月ぶり	大型小売店販売額（既存店）	-2.64	3カ月ぶり
鉱工業生産指数	1.41	3カ月ぶり	有効求人倍率（全数）	-1.83	3カ月連続
輸入通関実績（八戸港）	0.45	2カ月ぶり	旅行取扱高	-1.43	2カ月ぶり
			東北自動車道IC利用台数	-0.24	2カ月ぶり
遅行系列					
青森市消費者物価指数（総合）	1.67	10カ月ぶり	常用雇用指数（全産業）	-4.15	4カ月ぶり
りんご消費地市場価格	0.67	5カ月連続	現金給与総額（全産業）	-1.57	2カ月連続
			県内金融機関貸出残高	-0.68	2カ月連続
			家計消費支出（勤労者世帯：実質）	-0.55	2カ月連続
			公共工事請負金額	-0.23	2カ月連続

資料：県統計分析課「青森県景気動向指数月報」

(参考) 青森県景気動向指数（D I）		
先行指数	62.5%	（4カ月連続で50%を上回った）
一致指数	42.9%	（4カ月連続で50%を下回った）
遅行指数	57.1%	（2カ月連続で50%を上回った）